

ハンブルク、2012年4月25日

JFFH Japan-Filmfest Hamburg

2012年5月23日から27日まで

ハイパーリンク <http://www.jffh.de>



東京だけじゃ足りない！ゴジラがハンブルクへ

2012年5月23日から27日まで、第13回ハンブルク日本映画祭が開催されます。今年も日本メディア登記社団は大勢の後援者のご協力で、メトロポリス、アートハウス3001、ビームービー、プロジェクターの4つのパートナー映画館にて興味深い多彩な現代日本映画を紹介します。

2012年は日本ポップカルチャーの「巨大な」大使をお招きします。日本映画の巨大なスターであるゴジラがエルベ川を訪ね、ハンブルクの映画館に広大な足跡を残します。映画史上一番有名な爬虫類の現代的な二つの怪物映画『ゴジラ vs ビオランテ』と『ゴジラ vs キングギドラ』をハンブルク日本映画祭で上映します。特別招待ゲストはこの二つのゴジラ映画をはじめ監督そして脚本家として30本以上の映画を実現化された大森一樹監督です。大阪芸術大学で講師をされる大森監督は、上映後に観客の質問に答え、自身の映画について語ります。

大きなスタジオ制作品から **CO2 アーツフェスティバル**と**大阪芸術大学**との協調から選択される短編映画まで、今年のスケジュールには日本映画100本以上、その中いくつかの初演が含まれています。今年のオープニング映画は、麻生幾氏の昨年のベストセラー『外事警察 CODE: ジャスミン』に基づく堀切園健太郎監督の警察小説『外事警察』の世界初演です。2011年3月の震災を背景にして、原子力秘密情報が地震現地の大学から盗まれて外の世界に漏れるというスリリングなサスペンス話です。そのほかにハイライトは例えば石井克人監督の最新アクションコメディ作品『スマグラー』や映画世界の世間騒がせである園子温監督のサイコドラマ『恋の罪』です。東北の大震災1年後の今年もまた、2011年3月の大震災をもう一度振り返り、二つの印象的なドキュメンタリー『無常素描』と『Radioactivists』を上映します。能欄の野心的なアートハウス映画であろうと、薙刀欄のどぎつくてワイルドなジャンル映画であろうと、アニメ欄の色鮮やかな作品であろうと、落語欄の楽なコメディであろうと—観客の好みに合う作品が絶対にあります！

多様な枠プログラムのイベントや朝食上映の際、フェスティバルラウンジなどで、ゆったりした雰囲気、観客が日本からのゲスト・監督と日本メディアのチームと出会ってお話ができます。今年も、どうぞよろしくお願います。日本映画の世界へようこそ。

お問い合わせ: presse@nihonmedia.de | www.jffh.de

Nikolai Antoniadis, 携帯: +49 (0)172 431 06 57 | 会社: +49 (0)40 76 99 00 09
日本メディア登記社団 Nihon Media e.V. | Lottbeker Weg 34a | 22397 Hamburg
電話: +49 (0)40 606 855 72 | www.nihonmedia.de